

島根大学研究見本市

研究テーマ名 現代社会の諸領域における世俗化的傾向の研究
(英訳) Study on the Trends of Secularization in Contemporary Society

研究者紹介

諸岡了介／教育学部／准教授

MOROOKA Ryosuke, Faculty of Education, Associate Professor

概要

世俗化とは、社会において宗教的な価値観が占める位置の変化を指す言葉で、一般には近現代社会において宗教が持つ社会的影響力が低下してきた事態を意味するとされています。私はこの世俗化に関して、理論的・学説史的な検討と実証的な調査研究の両方を進めています。

I am engaged in both theoretical and empirical examinations of secularization, which is generally understood as declining trends of social significance religions have in the modern societies.

特色
研究成果
今後の展望

理論的・学説史的な検討としては、西欧諸社会と日本とのちがいを視野に入れながら、現代社会における人々の価値観の変化を捉える理論の構成に取り組んでいます。

実証的な調査としては、主に終末期ケアの領域をフィールドに、やはり西欧諸社会と日本の価値観を比較した研究を進めています。

最近では医療やケアの世界でもその重要性が認識されつつある死生観の問題について、人文社会科学の立場から貢献することができればと考えています。

On one hand, I attempt to build a sociological theory to grasp changes of values in the contemporary societies. On the other hand, I also conduct empirical researches on cultural and religious values in the field of the end-of-life care. I believe these sociological studies may offer some useful suggestions for the end-of-life care today.

キーワード

現代社会、世俗化、価値観、宗教、医療

リンク

<http://www10.ocn.ne.jp/~morooka/>